

Jazz Guitar Lesson

For Jazz Beginner 【10】



Mistletoe Music School

<YouTube 動画URL>

<https://youtu.be/AdEFKI7h89s>

ロックギタリストのための

ジャズギター入門シリーズ！【10】

ジャズに初めて挑戦する方を応援する「ジャズギター入門シリーズ」第10回目は「枯葉 3 2 小節を覚える、コード進行の覚え方」「2 弦の音を覚える」です。動画編集の都合上、ソロ課題、基礎課題はカットしましたが、今回解説している考え方はロストを防ぐためにとても有効な方法です。

【楽曲記憶方法】

－ アドリブ演奏時の譜面の見え方 －

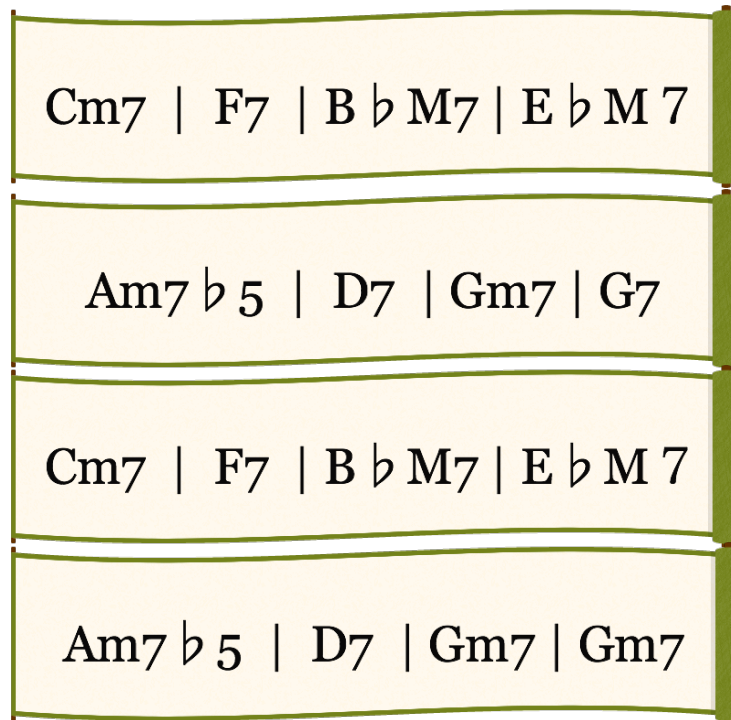
第9回のレッスンで「譜面を見ないように」と解説しました。アドリブ演奏中、頭の中の譜面をどのように追いかけているのか、そのイメージを解説していきます。最初に書いておきますが、鍛錬を続けると、最終的には頭の中の譜面を追いかける必要もなくなり、音楽的な流れに身を任せて演奏出来るようになります。

駆け出しの頃は（もちろん今現在も）楽曲を記憶するために自分なりの工夫をしてきました。ジャズ学習初期の段階では、巻物のようにコード進行を捉えがちです。次の小節のコードしか分からない状況であり、1つ飛ばしでコードネームを言う事が出来ません。



－ 譜面は巻物ではなく写真のように覚える －

譜面は、巻物を全て広げた写真や絵画のように見えています。私は生徒の前で、楽曲を終わりから逆に演奏したり、4小節1段で区切られた譜面を縦に弾いてみせます。もちろん、そのような演奏は普段はしませんし、音楽的には酷いものですが、写真のように見えていることを証明しています。枯葉であれば、各段1小節目をCm7→Am7♭5
→Cm7→Am7♭5の順です。レッスンで実演するのはもう少し複雑な楽曲ですけどね。

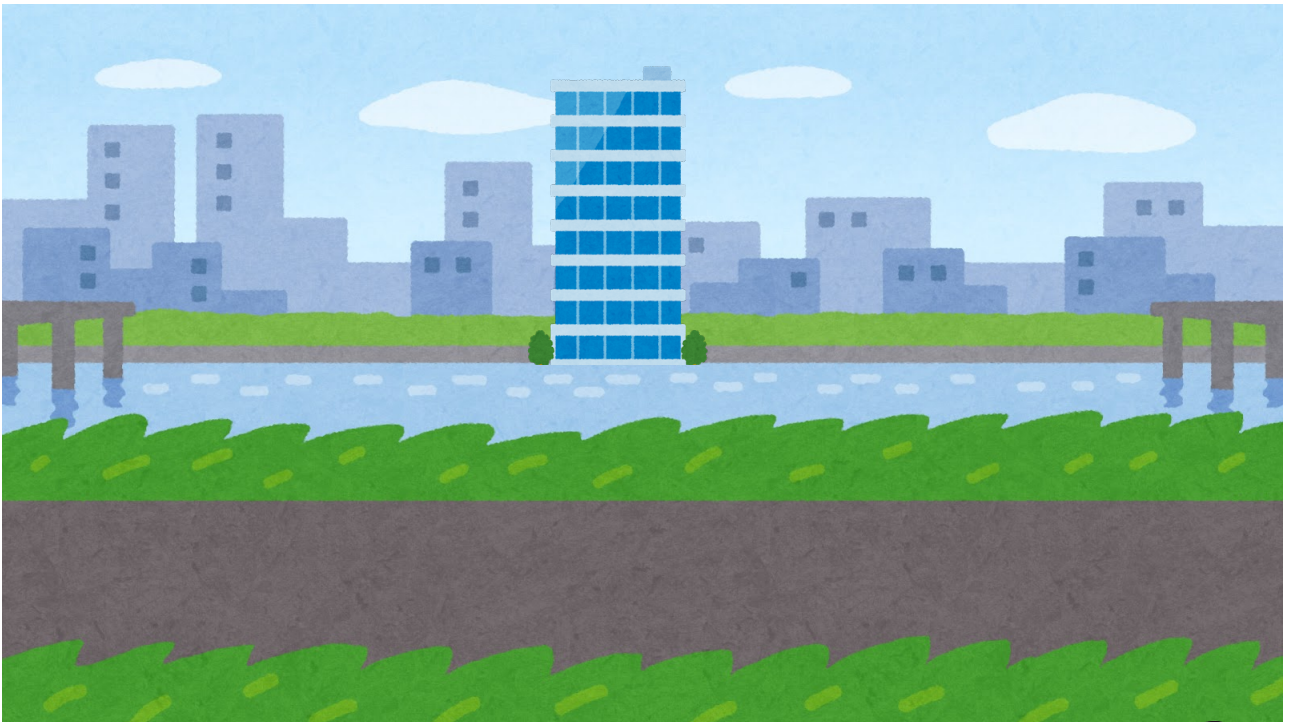


－ 瞬時に把握出来るのは4段まで －

過去、初見で演奏した際、演奏する段を間違えてロストした事がありました。そこで4小節×8段＝32小節のコード進行を追いかけるのは、1フロア4部屋×8階建＝全32戸のマンションを河川敷から眺めているように写真をイメージしました。

「マンションの5階を指差して」と聞かれて、皆さんは瞬時に5階を判断出来るでしょうか？一瞬でも迷ったら、それがロストに繋がります。ですので、「4小節×4段＝16小節」が瞬時に把握出来る自分の限界だと思い、32小節のスタンダードソングの多くを、4階建×2棟（16小節×2小節）だったり、今回の枯葉のように「4階建、平屋、3階建（実は枯葉は特殊です）」のようにして区切り、それぞれにAセクション、Bセクションと把握しています。今回の枯葉ではCm7から始まる8小節をAセクション、Am7♭5から始まる4小節をBセクション、そしてCm7から始まるけれど、尾ひれが付いて12小節の長さになったグループをA'セクションと捉えています。

- 4小節×8段=32小節のイメージ -



※イメージはテキストよりも動画の方が分かりやすいですよ。



- 4階建、平屋、3階建のイメージ -



- AAセクション -

Cm7から始める8小節（Aセクション）が2つ。

8小節目のG7は、次がCm7の時のみ演奏します。

A

1 Cm7 2 F7 3 B \flat M7 4 E \flat M7
5 Am7 \flat 5 6 D7 7 Gm7 8 G7

A

9 Cm7 10 F7 11 B \flat M7 12 E \flat M7
13 Am7 \flat 5 14 D7 15 Gm7 16 Gm7

- Bセクション -

Am7 \flat 5から始まる4小節がBセクション

B

17 Am7 \flat 5 18 D7 19 Gm7 20 G7

- A'セクション -

Cm7から始まりますが、少し伸びて12小節となったセクション

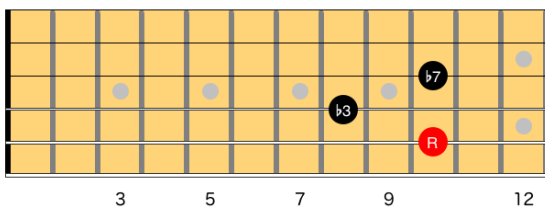
A'

21 Cm7 22 F7 23 B \flat M7 24 E \flat M7
25 Am7 \flat 5 26 D7 27 Gm7 C7 28 Fm7 B \flat 7
29 E \flat 7 30 D7 31 Gm7 32 (G7)

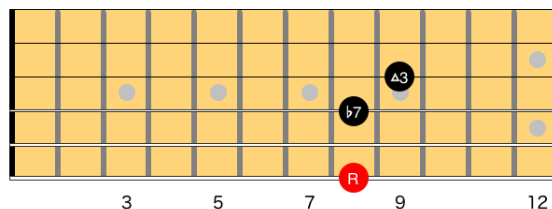
- 新しいコード -

A'セクションでは、新しく5弦ルートのマイナー7thコードが登場します。

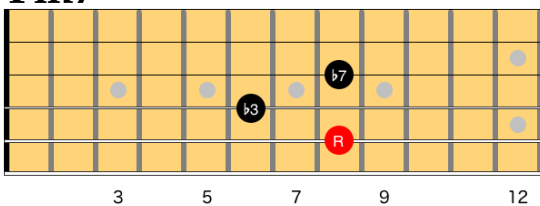
Gm7



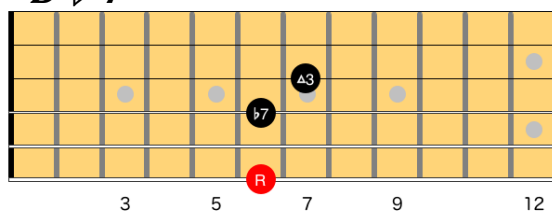
C7



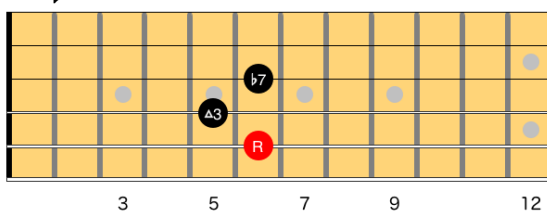
Fm7



Bb7

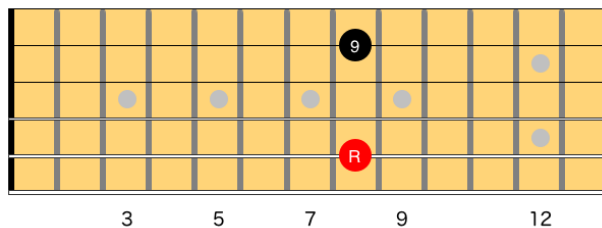
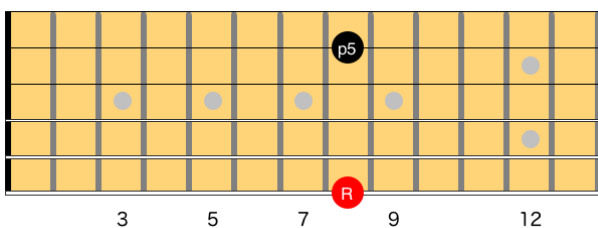


Eb7



- 2弦の音を覚えましょう -

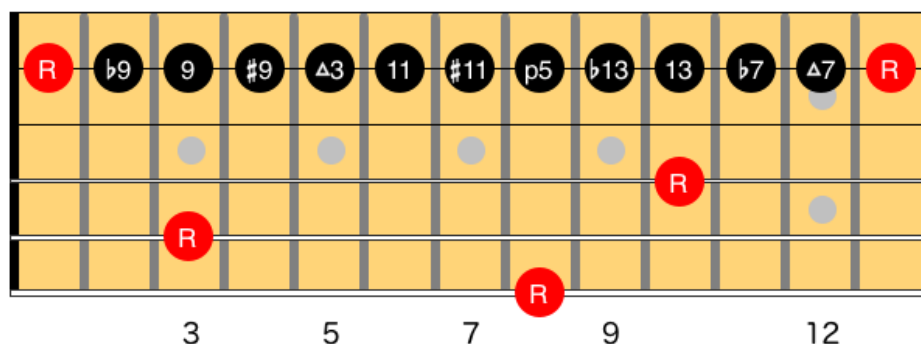
6弦ルートの時、ルートと同フレットの2弦の音は5度音でした。5弦ルートの時、ルートと同フレットの2弦の音は9度音でした。それぞれの音が動いた時、どのような名称になるかを把握しましょう。



- Cコード上での2弦の音 -

下記の図は、C音をRootとした時の2弦の度数です。

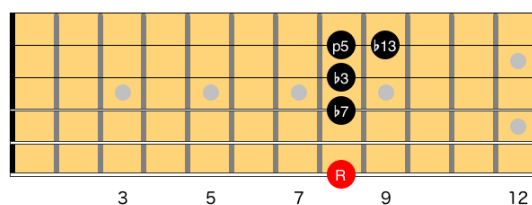
9th = \flat 3rd、#11th = \flat 5th、 \flat 13th = # 5thになることにも注意をしましょう。



例えばCm7の2弦を動かすと下記のようになります。

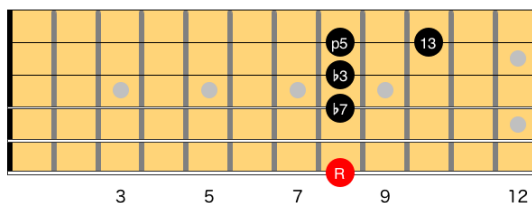
Cm7 (\flat 13)

2弦の5度 (コードトーン) が半音上がりました。#5thと記載する場合があります。



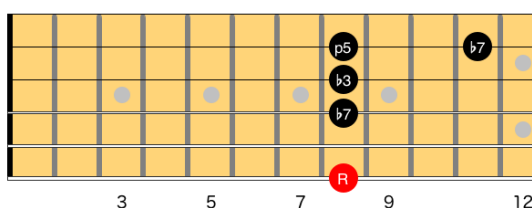
Cm7 (13)

2弦の5度 (コードトーン) が全音上がりました。テンション13thを付加。



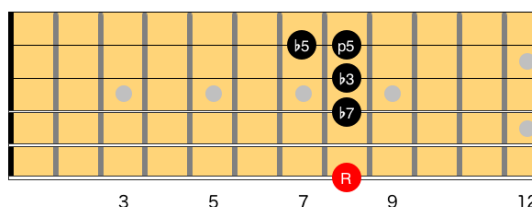
Cm7

2弦の5度が1音半上がりました。 \flat 7thはコードトーンなので名称変化なし。



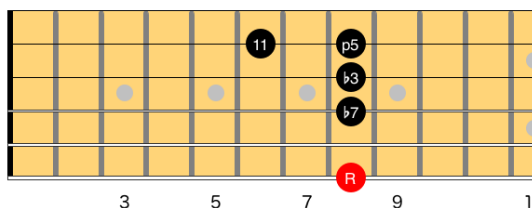
Cm7 (\flat 5)

2弦の5度 (コードトーン) が半音下がりました。



Cm7 (11)

2弦の5度 (コードトーン) が全音下がりました。テンション11thを付加。



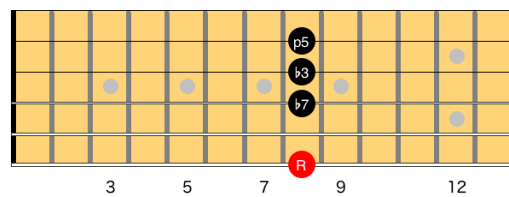
- 枯葉のコード -

前回覚えた枯葉の8小節のコードに2弦の音を付加しましょう。

Cm7

2弦=5th音

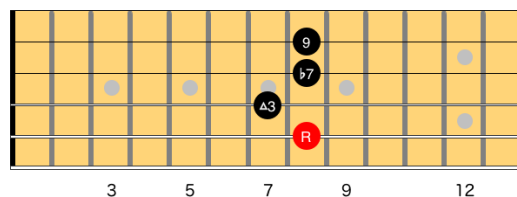
5度はコードトーンの為、名称変化なし



F7(9)

2弦=9th音

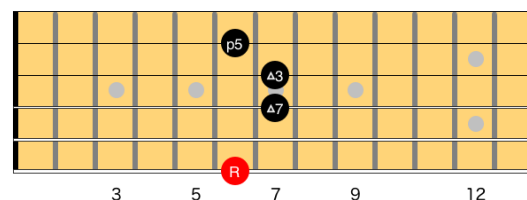
コード名にテンションを付加



B♭M7

2弦=5th音

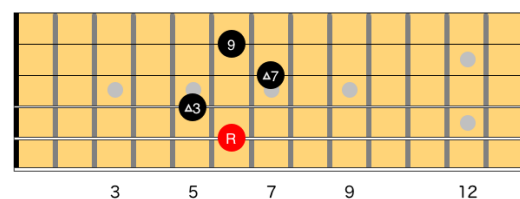
5度はコードトーンの為、名称変化なし



E♭M7(9)

2弦=9th音

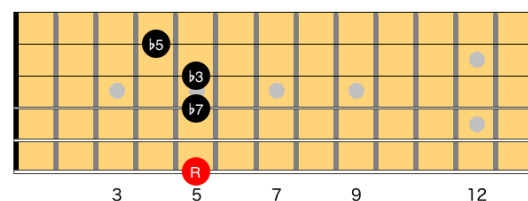
コード名にテンションを付加



Am7♭5

2弦=♭5th音

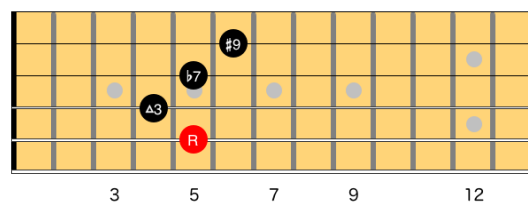
コード名を♭5へ



D7(#9)

2弦=#9th音

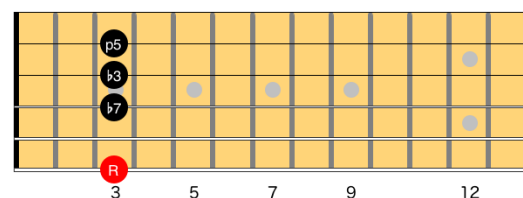
コード名にテンションを付加



Gm7

2弦=5th音

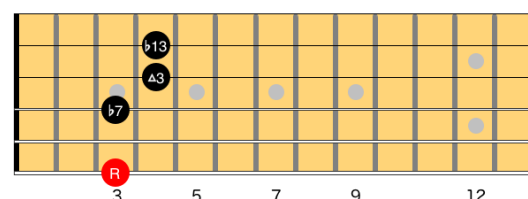
5度はコードトーンの為、名称変化なし



G7(♭13)

2弦=♭13th音

コード名にテンションを付加



- チャールストンビートで刻む -

それでは、いつも通りチャールストンビートで刻んでルーパーに録音をしてみましょう。

1 Cm7 2 F7 3 B \flat M7 4 E \flat M7

5 Am7 \flat 5 6 D7 7 Gm7 8 G7

最終A'セクションの7、8小節目、Gm7→C7→Fm7→B \flat 7と2拍ずつコードを動く箇所は、3、4拍目のコードを2拍目裏へ配置します。

Gm7 C7 Fm7 B \flat 7

▼投げ銭応援箱 <https://www.paypal.me/mistletoepay/1000>

Paypalを使用した投げ銭箱です。額は自由に変更できます。
まだまだ制作頑張ります。応援、宜しくお願い致します。

